

# 利賀っ子だより



R4. 10. 27



金剛祭ではたくさんの方々に見守られ、子供たちは、学習の成果を精一杯発表することができました。ステージ発表や作品展示での自分の表現についていろいろな方から声をかけていただいたことで、子供たちは、自信をもらったり、次の活動への欲を高めたりしたようです。

劇「利賀の本当の宝物は？」では、生活科や総合的な学習の時間で得た知識を発表するだけでなく、貴重な体験活動の場を提供してくださったり、熱心に指導してくださったりする地域の方々のおかげで、自分たちの学びが広がったり深まったりしていくことに気付き、その感謝の気持ちを伝えたいという目当てをもって取り組んでいました。金剛祭の機会に学んだ内容だけでなく、気持ちを行動にすることができました。ありがとうございました。

## ○ 次の挑戦

金剛祭で一輪車のステージ発表に向けて、時間を見つけては、一輪車の練習をして過ごしていた子供たち。一区切りついたこの時期に、いろいろな運動に挑戦してほしいと、体育主任がプレイルームに鉄棒を設置しました。

すると、早速、休み時間には学年入り交じって鉄棒にぶら下がっていました。

また、高学年の教室からは、リズムカルな音楽が聞こえてきました。のぞいてみると動画を見ながら、ダンスの練習



【「パク、パク、パク」】



【「何回 回るか見ている！」】

をしていました。委員会主催でダンスの発表会をすることにしているそうです。担任の先生も子供たちと一緒に踊っていました。

毎日の学校生活の中で何かしら挑戦することを見つけて取り組んでいく子供たち、そしてそれを支える先生方。見ているだけでわくわくする時間でした。

(高田 公美)